

三浦市長選挙

令和7年6月15日
執行

選挙公報

三浦市選挙管理委員会

三浦市長選挙に立候補するきっかけは、日本国政府が目標として掲げる『地方創生2.0』に対し、少しでも貢献したいと思った事に端を発します。

昨年10月に三浦市全域を視察した際に、公務員をはじめ飲食店や魚農鉄業関係者や運送に携わる方々、介護に携わる方々など、ほとんど全ての方がこの町の将来を不安視している現状を確認いたしました。

これまで三浦市政に対し、死力を尽くしてくださった全ての関係者に深く感謝の意を表し、それを労い、そしてこれからは民間の力も使い“今まで埋もれていた公務員の潜在能力を最大限に引き出し支える仕事”をして参ります。

都心から企業を誘致し（現在、港区麻布台商店街の全国親善大使を務めております）地元雇用の確保を一番の優先課題とします。

またSNSを利用し、三浦市の特産品である“マグロや大根・キャベツなど”を広く宣伝し、三浦市自体を全国民に対し認知していただくことに全力を尽くします。

これらを個人版ふるさと納税や、企業版ふるさと納税の返礼品である事を、今一度最大限に宣伝し、税収の増加に繋げ財政の安定化を図ります。

今まで財源が不足して諦めていた事業にこの財源を当てて、市民の満足度を高めます。

4年後に振り返った時に、“人が賑わい笑顔あふれる市”にすることを目標とします。



無所属

秋葉俊二

56歳

多選(6期24年)を阻止

新しい市政へ

古い政治、一掃宣言!

多選(6選)を阻止。
クリーンな市政を実現します。

二町谷、旧三崎中学校跡地、
新海業プロジェクトなど不透明な
事業の状況を公開します。

市長以下、職員の関係事業者との
会食、贈答品の授受を禁止します。

市民に開かれた市役所をつくります。

市役所組織内のハラスメント対策を
徹底し、働きやすい職場をつくります。

Profile

でぐち かいち

出口 嘉一 43歳

1982年3月 三浦市三崎町緒磯生まれ
横須賀市立横須賀高等学校卒業
保坂展人政治塾 第9期塾生
妻と子ども3人の5人家族

詳しい活動内容は
こちらから

でぐち かいち

出口嘉一は本気で
三浦の未来を作ります。

1 教育と子育ての先進自治体 三浦に

▶ 探究型学習のモデル校を新たに設立
▶ 小中学校の統廃合計画を白紙に戻し、学校教育ビジョンの見直しを実施する
▶ 小中学校の学校給食費を無償化 ▶ 隠れ待機児童問題の解消
▶ 学童保育の充実と保護者の負担軽減

2 徹底した情報公開と住民自治のまち

▶ 市の事業に市民の意見を取り入れるための仕組みを構築
▶ 3ヶ月に一度、各政策の進捗状況を市長が会見及びyoutubeで報告

3 高齢者にやさしいまち

▶ 移動の手段を確保するためコミュニティ・バスを運行
▶ 孤立した高齢者世帯への見回り支援を強化

4 農業で稼ぎ、挑戦できるまち

▶ 新規就農支援の強化 ▶ 都市部に三浦市営の産直市場を開業

5 再び、水産業で賑わうまち

▶ 中長期的な視点で藻場の再生への取り組みを強化

6 ユニークな観光を創造するまち

▶ 三崎、南下浦、初声の各地区で市民参加の協議体を設立

7 災害への備えを怠らないまち

▶ 圧倒的に足りない備蓄(床マットなど)を早急に整備
▶ 避難時のトイレ対策・プライバシー対策を強化



出口
でぐち
嘉一
かいち

投票日
6月15日

〔投票時間〕 午前7時から午後8時まで

三 浦 市 長 選 挙

令和7年6月15日
執 行

三浦市選挙管理委員会

選 挙 公 報

三浦市は人よし食よし気分よし



よ し だ

吉田
ひで
お

吉田ひでお三浦市長
評価の高い活動実績!!

- 行財政改革(3セク債発行など)
- ふるさと納税活性化
- 二町谷埋立地売却・企業誘致実現
- 三浦市立病院の黒字化
- 日本発マグロ専用の低温市場建設
既存市場も含めた高度衛生管理化
- 消防・ゴミの広域化
- 三浦縦貫道路二期区間(高円坊まで開通)
- 城ヶ島大橋の無料化
- 民活による三崎高校の跡地利用
- 特別養護老人ホーム増設(220床)
- 給付型奨学金制度創設
- 高校生までの医療費の無償化

- 子育て支援と教育
- 市民交流拠点整備事業
- 新海業プロジェクト
- 観光政策
- 高齢者の権利擁護
- 防災対策

将来を見据えた6政策と投資

投 票 日
6 月 15 日

〔投票時間〕 午前 7 時から午後 8 時まで